



荒木てつ



岡村しん



宮坂良子



西村あつ子

再審法改正の促進を求める意見書

狛江市議会が全会一致で採択 6月12日



再審法改正の促進を求める意見書を全会一致で採択＝6月12日、市議会

**国会は自民、公明、維新が
法案提出に加わらず持越し**

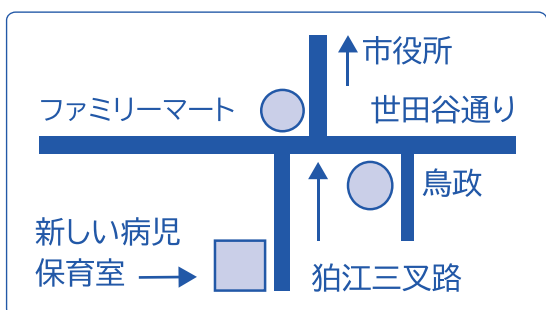
狛江市議会は6月12日、「再審法改正の促進を求める意見書の提出を求める陳情」（日本国民救援会狛江支部・梅本健司代表提出）を採択、同趣旨の国への意見書を全会一致で採択しました。多摩地域での意見書採択は狛江市議会が17番目、全国では733自治体（7月7日現在）42%で採択されています。日本国民救援会狛江支部は陳情採択を各会派に要請するなど奮闘しました。

意見書は「再審は無実の人が法律で救済される最後の手段である。しかし再審請求を始めてから無罪になるまでに何十年もの月日を要する」「袴田事件は：再審請求を始めてから無罪判決が言い渡されるまで43年以上かかった」として「冤罪被害者の一刻も早い救済のため速やかに再審法を改正する必要がある」と述べています。

日本共産党は荒木てつ議員が「事件当時30歳だった袴田さんは無罪判決の時点で88歳」「冤罪は国家による重大な人権侵害。冤罪を晴らすのに人生をほぼ費やす現状は早急に改める必要がある」と賛成討論を行いました。

しかし国会では、日本共産党も含む超党派議員がまとめた再審法改正案を6野党が共同提出しましたが、自民、公明、維新が改正案の共同提出に加わらず、審議も行われず、次の国会に持ち越されました。

新たな病児保育室



東和泉2丁目に10月から開設

猪方3丁目の「すこやか病児保育室」が4月から休室となり、10月から東和泉2丁目に病児保育室が新たに開設されることになりました。定員は3名、看護師と保育士各1名が配置されます。

事前登録制で、子どもの健康状態を事前に把握します。予約が必要で、医師が利用可能と判断した病気の場利用できます。利用できず、利用できなかった場合は、利用できなかった理由を説明する必要があります。

6月議会では岡村しん議員が、利用料をこれまでと同じ1日2千円にすることを、保育室の近くへの駐車場の確保、SNSだけでなく電話での申し込みの継続など求めました。

音響式信号機が設置されました

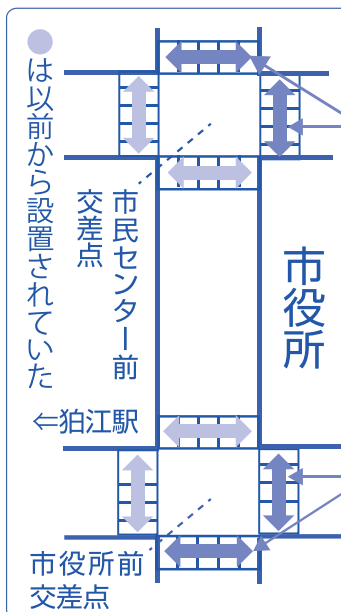
市役所前と市民センター前交差点

日本共産党 実現に奮闘

8月上旬、市役所前交差点と市民センター前交差点に音響式信号機が設置されました。

「横断歩道は、自動車の音で判断して渡ります。轢かれそうになったこともある」という声が視覚障がいの方から寄せられ、日本共産党は荒木てつ議員が、視覚障がい者の会の方と一緒に交差点の調査を行い、調布署に要望し2023年6月の市議会できりあげました。

●今回、新たに音響式信号機が設置された所



その結果、同年11月2日に調布署から、市役所前交差点など市内交差点に音響式信号機が設置される見込みです。

嬉しい。大きな前進

視覚障がい者の会の伊藤聡子さんは「大変嬉しいお知らせを、ありがとうございます。早速8日の仕事帰りに『渡り初め』させてもらいました。まだ新しいところにはエスコートゾーンはついていませんでしたが、大きな前進に感謝しております」と語っています。

裏面に一般質問、陳情採択など